

未来のシゴト人へ

17歳新聞

2014
4月

[第13号]

編集新聞局員

第13号編集長 高橋 麻利

編集者 池田 くるみ

宇佐美 舞 葛西 愛理



3月12日に高校2年総合学習「職業人ガイダンス」がありました。社会で活躍する方々に来校いただき、その仕事を選んだキッカケややりがい、仕事内容などを学びました。講演後に5名の方々取材し、仕事に対する思いなどを聞き、メッセージをいただきました。第13号は17歳新聞連載記事「おしえてシゴト人」特集です。

看護師

松田 鈴子 さん



北海道社会事業協会岩内病院の看護師長。人々に万全な医療体制を提供できるよう日々看護に励む。

キッカケ

松田さんの母が病気で入院したとき、優しく素敵な看護師に出会った。「自分もこの仕事したい」と憧れた。

仕事の魅力

「頼りにされていることを感じたときがうれしい」。いろいろな人と接することで成長し、頑張る気持ちになるという。

向き合うこと

「患者さんの笑顔に助けられて仕事を続けていける」と感謝している。看護師は患者の心のケアや夜勤もある。大変な職業だがやりがいも大きいと感じた。「メールは便利だけれど、真正面を向いて人と話をすることが大切」と未来の看護師にアドバイスをくれた。

会社経営

植西 晃典 さん



株式会社ホームスター代表取締役。飲食店店長の経験をし、現在の不動産会社を起業。宅地建物取引主任者など多くの資格を持つ。

今の仕事について

同じ商品でも立地などによって売り上げが変わることを知り、不動産に興味を持ったことがキッカケだ。不動産の仕事をするには、他の仕事を経験してからも遅くないと思う。

やりがいと責任、思いやりと努力

多額のお金が動く不動産の購入や売却は、一生に何度も経験することはない。「その場面に立ち会うことはやりがいと責任がある」という。だからこそ、相手を思いやることや努力することがこの仕事では大切だ。

将来に役立つ経験

「社会では多くの人の協力をもらいながら仕事をできる人が高い評価をされる」という。その力をつけるときは学生時代。「サークル活動などで運営する経験を積むとよい」と話してくれた。

衆議院議員 秘書

今津 寛介 さん



今津ひろし旭川事務所の衆議院議員秘書。高校時代は体育科で3年間、野球漬けの日々を過ごした。

キッカケ

「世のため人のために役立ちたい」という思いからこの仕事をめざしたという。

人と人を結ぶ架け橋

「政治と国民をつなぐ架け橋を意識している。仕事の魅力は「代議士を支えることで国家と地域の発展に寄与できる」といい、分単位のスケジュールをこなしている。

強い信念

この仕事には公平で公正な判断力が必要だ。今津さんは「不可能を可能にする行動力」を大切にして、熱い気持ちで仕事をしている。

全力で感謝

「将来は一日一日の積み重ね。日々全力投球で、感謝を忘れずに過ごしてほしい」とメッセージを送ってくれた。

ライフプランナー

植西 泰文 さん



工業高校を卒業し、建設会社にて14年間勤務。32歳でソニー保険株式会社に転職し、10年目をむかえる。

やりがい

健康な人に保障の必要性を認識してもらい、保険に加入してもらったことがライフプランナーの仕事だ。病気や事故で死んだときの残された家族の生活費や、子どもの教育資金などを一緒に考えてアドバイスをしている。「今後もきちんと生活できる」と感謝されたときにやりがいを感している。

目標も計画的に

社会では一人としてどんな生き方をしたか」が問われるという。お金だけでなく目標も何十年先のことを計画していくことが大事であること学んだ。「この先、夢や目標が明確になったとき、諦めざるを得ない状況にならぬように、勉強も全力で取り組むべき」と教えてくれた。

システムエンジニア

秋山 享慶 さん



株式会社クレスコのシステムエンジニア。高校時代は卓球部に所属し、個人では全道大会にも出場。

キッカケ

大学でプログラミングやウェブ技術に興味を持ち、仕事として習得したいと考えたこと。

仕事の魅力

魅力は「お客様からの要件を形にすること、自分が関わった仕事が世の中で活用されているのを見られること」という。「便利になった」の言葉にやりがいを感している。

大事なものは国語力

この仕事で要求されるのは「伝える力」と「読み取る力」。理系の難しい話でも簡潔でかつ適切にやり取りする力が必要である。

人生の引き出しづくり

「高校生は学校や社会のルールの違いに悩まながらも解決していくとき。人生に役立つ力を養ってほしい」と思いを伝えてくれた。今は社会性を身につけているときだ。

今回の職業人ガイダンスでは他にも**弁護士**や**税理士**、**警察官**、**人材教育コンサルタント**、**理学療法士**の仕事について学びました。参加した生徒の感想を紹介します。

- ・裁判をやるときは常に相手に対して**ベストを尽くす**ことが大切だと感じた。
- ・税理士のいい面も大変な面もたくさん聞けてよかった。**失敗しても粘り強く取り組むことが大事**だと感じた。
- ・警察官は**コミュニケーション力が大事**であり、人の痛みがわかる人になることが大事だと思った。
- ・人材教育コンサルタントは**人にやる気を出させ、目標を達成させる力**があると感じた。
- ・理学療法士は幅広い分野で**人に寄り添い、健康を守っている存在**であると思った。

どの職業に対しても「**責任は大きい**が**やりがいがあり、魅力的な仕事**だ」という感想がありました。今回は貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

新入生のみなさんへ

大谷には、将来に向けてたくさんの方を吸収しながら勉強に励む人、全道・全国大会出場といった目標に向かって部活動を頑張る人、芸術を通して自分の表現力を磨く人など、個性豊かな仲間がたくさんいます。そんな中にある刺激を受けないはずがありません。中学で身につけた力を伸ばすもよし。新しいことに挑戦するもよし。切磋琢磨できる環境があります。

体育祭や学園祭はもちろん、花まつりや報恩講といった大谷特有の伝統行事もあります。日々の学校生活では、大谷生なら誰もがお世話になっている尚文舎(売店)で昼食やデザートを買ったり、友だちとおしゃべりをしたり、楽しいことがたくさん待っています。

そうとはいつても、みなさん自身が自分から楽しまなければ意味がありません。新しい生活が始まり、まだ不安もあると思いますが、自分を大切に、充実した3年間を過ごしてください!

2014年4月25日(金)
片山 終 **ピアノリサイタル**
~春に集う、秘曲たちの夢~
高校音楽科 3年生
札幌コンサートホール Kitara小ホール 18:30開場/19:00開演

札幌大谷大学社会学部 Open Campus
高校生のための社会学入門
~地域の資源を生かした魅力ある観光地作り~
2014年4月26日(土) 9:30~15:30
お申し込み・詳細は札幌大谷大学 WEBサイトへ
札幌大谷大学 検索

新しい発見と
聞いて驚くことばかり。
局員募集!
詳しくは6-9 池田まで